

都市再生整備計画 事後評価シート  
小美玉西部地区

令和3年3月

茨城県小美玉市

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名                                | 茨城県              |   | 市町村名  | 小美玉市                     |               | 地区名   | 小美玉西部地区 |                                 |                                 | 面積   | 19.1ha  |         |
|--------------------------------------|------------------|---|---|--------------------------|---------------|---|---------|---------------------------------|---------------------------------|--|---|---------|
| 交付期間                                 | 平成26年度～令和2年度     |   | 事後評価実施時期  | 令和2年度                    |               | 交付対象事業費   | 2,662   | 国費率                             | 0.416                           |  |   |         |
| 1)事業の実施状況                            | 事業名              |   |   |                          |               |   |         |                                 |                                 |  |   |         |
|                                      | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | 基幹事業                                      | 道路(羽鳥駅東口駅前広場、羽鳥駅西口交通広場、市道美1486号線、市道美1496号線)、地域生活基盤施設(羽鳥駅東西自由通路) |                          |               |   |         |                                 |                                 |  |   |         |
|                                      |                  | 提案事業                                      | なし  |                          |               |   |         |                                 |                                 |  |   |         |
|                                      | 当初計画から削除した事業     | 基幹事業                                      | 道路((仮)東谷津公園周辺道路)、公園((仮)東谷津公園)、地域生活基盤施設(高速バス駐車場)                 |                          |               | 削除/追加の理由  |         |                                 | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響          |  |   |         |
|                                      |                  | 提案事業                                      | 事業活用調査((仮)東谷津周辺整備基本設計)  |                          |               | 事業項目の見直しにより削除   |         |                                 | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし |  |   |         |
|                                      | 新たに追加した事業        | 基幹事業                                      | なし  |                          |               |   |         |                                 |                                 |  |   |         |
| 提案事業                                 |                  | 地域創造支援事業(駅前広場防犯カメラ設置)、事業活用調査(事業効果活用調査)    |   |                          | 事業項目の見直しにより追加 |   |         | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし |                                 |  |   |         |
| 交付期間の変更                              | 当初               | 平成26年度～平成30年度                             |   | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 |               | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響なし  |         |                                 |                                 |  |   |         |
|                                      | 変更               | 平成26年度～令和2年度                              |   |                          |               |   |         |                                 |                                 |  |   |         |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況       | 指標               |   | 単位  | 従前値                      | 目標値           | 数値  |         | 目標                              | 1年以内の達成見込み                      | 効果発現要因(総合所見)   | フォローアップ予定時期   |         |
|                                      |                  |   |   | 基準年度                     | 目標年度          | モニタリング  | 評価値     | 達成度                             |                                 |  |   |         |
|                                      | 指標1              | 移動時間の短縮                                   | 分   | 約4分                      | H25年度         | 約2分   | R2年度    | 約1.7分                           | ○                               | あり<br>なし   | 従前は改札が駅西側のみであったため、駅東側からの利用者は、跨線人道橋を渡って西側に移動しなければ駅を利用できないなど不便状況であったが、東口駅前広場及び東西自由通路が整備され、駅東西の移動が容易となったことや、自由通路から駅に直接アクセスできる構造となったことなどにより、駅東側からよりホームまでの歩行者の移動時間が約4分から約1.7分に短縮され、駅東側からのアクセス性が向上した。 |         |
|                                      | 指標2              | 駅利用者の増加                                   | 人   | 4,598人                   | H26年          | 4,964人  | R2年     | 4,632人                          | △                               | あり<br>なし   | ● 羽鳥駅の駅利用者については、評価値(見込み値)が4,632人と、従前値の4,598人を上回ったものの、目標値の4,964人を達成することはできなかった。関連事業による効果が低かったことが要因と推測される。  | 令和4年3月頃 |
|                                      | 指標3              | 社会移動率の増加                                  | %   | -0.26                    | H26年度         | -0.2  | R2年度    | -0.21                           | △                               | あり<br>なし   | ● 社会移動率については、評価値(見込み値)が-0.21%と、従前値の-0.26%を上回ったものの、目標値の-0.2%を達成することはできなかった。関連事業による効果が低かったことが要因と推測される。  | 令和4年3月頃 |
|                                      | 指標4              | 市イベント関連交流人口の増加                            | 万人  | 約81万人                    | H26年度         | 約103.8万人  | R2年度    | 約82.5万人                         | △                               | あり<br>なし   | ● 市イベント関連交流人口については、評価値(見込み値)が約82.5万人と、従前値の約81万人を上回ったものの、目標値の約103.8万人を達成することができなかった。関連事業による効果が低かったことが要因と推測される。   | 令和4年3月頃 |
| 指標5                                  | 住みやすさ指数の増加       | %   | 約49%  | H23年度                    | 約53%          | R2年度  | 約58%    | ○                               | あり<br>なし                        | ● JR羽鳥駅の自由通路・駅前広場等を整備したことで、アンケート調査結果による住みやすさ指数は、目標値の約53%を上回る評価値(見込み値)約58%となり、住みやすさといえる地域住民の割合が増えた。 | 令和4年3月頃   |         |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標               |   | 単位  | 従前値                      | 目標値           | 数値  |         | 目標                              | 1年以内の達成見込み                      | 効果発現要因(総合所見)   | フォローアップ予定時期   |         |
|                                      |                  |   |   | 基準年度                     | 目標年度          | モニタリング  | 評価値     | 達成度※1                           |                                 |  |   |         |
| 4)定性的な効果発現状況                         |                  |   |   |                          |               |   |         |                                 |                                 |  |   |         |
| 5)実施過程の評価                            |                  |   | 実施内容  |                          |               | 実施状況  |         |                                 | 今後の対応方針等                        |  |   |         |
|                                      | モニタリング           | なし  |   |                          |               | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |         |                                 | -                               |  |   |         |
|                                      | 住民参加プロセス         | ・羽鳥駅お別れ会<br>・ワークショップ～モザイクタイトルで「羽鳥駅」を彩ろう！～ |   |                          |               | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |         |                                 | ○<br>-                          |  |   |         |
|                                      | 持続的なまちづくり体制の構築   | なし  |   |                          |               | 都市再生整備計画に記載し、実施できた<br>都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した<br>都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった |         |                                 | -                               |  |   |         |

## 様式2-2 地区の概要

| 小美玉西部地区(茨城県小美玉市) 都市再生整備計画事業の成果概要  |  |                |       |               |       |       |      |            |       |
|---|--|----------------|-------|---------------|-------|-------|------|------------|-------|
| まちづくりの目標  |  | 目標を定量化する指標     |       | 従前値           |       | 目標値   |      | 評価値        |       |
| 大目標 誰もが安心して暮らせる出会いのまち<br>小目標① 交通利便性の向上による移動の円滑化<br>小目標② 安心して住み続けることができるまちづくりの推進 |  | 移動時間の短縮        | 単位:分  | 4             | H25年度 | 2     | R2年度 | 1.7        | R2年度  |
|   |  | 駅利用者の増加        | 単位:人  | 4,598         | H26年  | 4,964 | R2年  | 4,632(見込み) | H30年  |
|   |  | 社会移動率の増加       | 単位:%  | -0.26         | H26年度 | -0.2  | R2年度 | -0.21(見込み) | R1年度  |
|   |  | 市イベント関連交流人口の増加 | 単位:万人 | 81            | H26年度 | 103.8 | R2年度 | 82.5(見込み)  | H30年度 |
|   |  | 住みやすさ指数の増加     | 単位:%  | 49            | H23年度 | 53    | R2年度 | 58(見込み)    | H28年度 |
|   |  | <br>羽鳥駅(西口)    |       | <br>羽鳥駅東西自由通路 |       |       |      |            |       |
| まちの課題の変化  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○羽鳥駅周辺市街地における玄関口にふさわしい拠点的な地区の整備が必要となっている。<br/>小美玉市の陸の玄関口である羽鳥駅において、自由通路や駅前広場等の一体的整備が図られたことにより、地域住民の「住みやすさ」に対する指数が向上した。</li> <li>○市内の主要な拠点を結ぶ適切な連携軸の整備が必要となっている。<br/>羽鳥駅においては、東西駅前広場の整備により利便性の向上が図られたことに加え、連絡軸となる自由通路が整備されたことで東西市街地への移動が容易となった。</li> <li>○小美玉市の今後を担う子どもたちが安心・安全に育っている施策が求められている。<br/>羽鳥駅の自由通路・駅前広場等の一体的整備により、バリアフリー化が図られたことに加え、防犯カメラが設置されるなど、あらゆる世代の人々が安心・安全に住み続けることができる環境の整備が図られた。<br/>⇒羽鳥駅東口市有地については、土地の利活用が検討されているものの、現時点で立地誘導・整備が図られていないことから、拠点としてのまちづくりに寄与する有効活用が必要である。<br/>⇒羽鳥駅東西自由通路等により、駅を中心とする東西市街地の回遊性が図られたが、今後は東西が一体となった羽鳥駅周辺地区全体を拠点とした整備が必要である。</li> <li>○まちに活気や賑わいが求められている。<br/>⇒「駅利用者の増加」「社会移動率の増加」「市イベント関連交流人口の増加」の指標について、達成することができなかった。<br/>⇒移住定住の促進や交流人口の拡大を図ることで、まちの更なる活気・賑わいの創出が必要である。</li> </ul> |                |       |               |       |       |      |            |       |
| 今後のまちづくりの方策(改善策を含む)   | <ul style="list-style-type: none"> <li>【羽鳥駅の一体的整備を契機としたまちづくり】⇒地域住民が参加するまちづくりの推進<br/>行政による計画的なまちづくりを行うのみならず、事業者・住民等の更なる連携・協働の下、地域住民が参加するまちづくり組織を主体とするまちづくり活動を推進することが求められる。</li> <li>【羽鳥駅の一体的整備を契機とした市有地の有効活用】⇒羽鳥駅東口市有地利活用事業<br/>羽鳥駅東口市有地については、民間活力の導入など、便利で賑わいのある交流空間を形成できるよう利活用を図ることを目指す。</li> <li>【羽鳥駅周辺地区全体における拠点化】⇒羽鳥駅周辺整備事業(道路等事業)<br/>羽鳥駅周辺地区全体の拠点化を図り、魅力ある東西一体となった市街地の形成を目指す。</li> <li>【まちの更なる活気・賑わいの創出】⇒Uターン促進事業・情報戦略事業<br/>市の魅力やイベントのPR、情報発信を実施することで、移住定住の促進を図るとともに、交流人口の拡大、更には駅利用者の増加へとつなげることを目指す。</li> </ul>   |                |       |               |       |       |      |            |       |

# 都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

|                    | 変更 |    | 変更前  | 変更後  | 変更理由   |
|--------------------|----|----|--|--|--|
|                    | あり | なし |  |  |  |
| A. まちづくりの目標        |    | ●  | -  | -  | -  |
| B. 目標を定量化する指標      | ●  |    | -  | 指標2 駅利用者の増加<br>指標3 社会移動率の増加<br>指標4 市イベント関連交流人口の増加  | 関連事業「都市再生コーディネート等推進事業(羽鳥駅東口市有地)」 「UIJターン促進事業(地方創生推進交付金)」 「情報戦略事業(地方創生推進交付金)」の追加により、追加した。 |
| C. 目標値             | ●  |    | 指標2 駅利用者の増加<br>4,976(人)<br>指標5 住みやすさ指数の増加<br>51(%) | 指標2 駅利用者の増加<br>4,964(人)<br>指標5 住みやすさ指数の増加<br>53(%) | 指標の精査により変更した。  |
| D. その他( 目標値の目標年度 ) | ●  |    | H30  | H32  | 整備期間の延長により目標値の目標年度も変更した。   |

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

| 基幹事業        |              |       |                 |        |                 |                                      |   |            |       |
|-------------|--------------|-------|-----------------|--------|-----------------|--------------------------------------|---|------------|-------|
| 事業          | 事業箇所名        | 当初計画  |                 | 最終変更計画 |                 | 当初計画からの<br>変更の概要 ※1<br>(事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した<br>まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 |       |
|             |              | 事業費   | 事業内容            | 事業費    | 事業内容            |                                      |   | 完成         | 完成見込み |
| 道路          | 羽鳥駅東口駅前広場    | 195   | A=6,000㎡        | 364    | A=6,000㎡        | 事業費の精査により増額                          | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和3年3月     |       |
| 道路          | 羽鳥駅西口交通広場    | 264   | A=2,700㎡        | 251    | A=2,700㎡        | 事業費の精査により減額                          | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和3年3月     |       |
| 道路          | 市道美1486号線    | 35    | L=100m          | 15     | L=100m          | 事業費の精査により減額                          | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和3年3月     |       |
| 道路          | 市道美1496号線    | 40    | L=175m          | 20     | L=100m          | 事業費の精査により減額                          | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和3年3月     |       |
| 道路          | (仮)東谷津公園周辺道路 | 123   | L=550m          | -      | なし              | 平成29年に計画変更して削除                       | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | -          |       |
| 公園          | (仮)東谷津公園     | 209   | A=11,000㎡       | -      | なし              | 平成29年に計画変更して削除                       | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | -          |       |
| 河川          |              |       |                 |        |                 |                                      |   |            |       |
| 駐車場有効利用システム |              |       |                 |        |                 |                                      |   |            |       |
| 地域生活基盤施設    | 羽鳥駅東西自由通路    | 1,900 | L=40m, A=1,000㎡ | 2,100  | L=40m, A=1,000㎡ | 事業費の精査により増額                          | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和2年2月     |       |
| 地域生活基盤施設    | 高速バス駐車場      | 100   | A=3,000㎡        | -      | なし              | 平成31年に計画変更して削除                       | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | -          |       |
| 住宅市街地総合整備事業 |              |       |                 |        |                 |                                      |   |            |       |

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

| 提案事業            |                  |      |      |        |      |                                      |   |            |       |
|-----------------|------------------|------|------|--------|------|--------------------------------------|---|------------|-------|
| 事業              | 細項目              | 当初計画 |      | 最終変更計画 |      | 当初計画からの<br>変更の概要 ※1<br>(事業の削除・追加を含む) | 都市再生整備計画に記載した<br>まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響 | 事後評価時の完成状況 |       |
|                 |                  | 事業費  | 事業内容 | 事業費    | 事業内容 |                                      |   | 完成         | 完成見込み |
| 地域創造<br>支援事業    | 防犯カメラ設置          | -    | なし   | 9      | 9基   | 令和2年に計画変更して追加                        | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和3年3月     |       |
|                 |                  |      |      |        |      |                                      |   |            |       |
| 事業活用調査          | 事業効果活用調査         | -    | なし   | 3      | -    | 令和2年に計画変更して追加                        | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | 令和3年3月     |       |
|                 | (仮)東谷津公園周辺整備基本設計 | 8    | -    | -      | なし   | 平成29年に計画変更して削除                       | まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響はなし               | -          |       |
| まちづくり<br>活動推進事業 |                  |      |      |        |      |                                      |   |            |       |
|                 |                  |      |      |        |      |                                      |   |            |       |

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

| (参考)関連事業                       |     |          |      |            |         |         |          |                         |  |
|--------------------------------|-----|----------|------|------------|---------|---------|----------|-------------------------|--|
| 事業                             | 細項目 | 事業箇所名    | 事業費  |            | 事業期間    |         | 進捗状況及び所見 | 備考                      |  |
|                                |     |          | 当初計画 | 最終変更<br>計画 | 当初計画    | 最終変更計画  |          |                         |  |
| 希望ヶ丘公園整備事業                     |     | 希望ヶ丘公園   | 365  | 10         | H26～H30 | H26～H30 | H30年度 完了 |                         |  |
| 都市再生コーディネート等推進事業<br>(羽鳥駅東口市有地) |     | 羽鳥駅東口市有地 | -    | 2          | -       | H30～H30 | 未実施      | 市有地活用希望の民間事業者がなかったため未実施 |  |
| UIJターン促進事業(地方創生推進交付金)          |     | 市域全体     | -    | 35         | -       | H30～H30 | H30年度 完了 |                         |  |
| 情報戦略事業(地方創生推進交付金)              |     | 市域全体     | -    | 17         | -       | H30～H30 | H30年度 完了 |                         |  |
| 事業効果活用調査                       |     | 小美玉西部地区  | 8    | -          | H29～H30 | -       | -        | 令和2年に計画変更して提案事業に追加      |  |



添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

| 指標  | 単位       | データの計測手法と評価値の求め方<br>(時期、場所、実施主体、対象、具体手法等) | (参考)※1<br>計画以前の値<br>(ア) |   | 従前値<br>(イ) |          | 目標値<br>(ウ) |          | 数値(エ)  |        |        | 目標達成度※2 |    | 1年以内の<br>達成見込みの<br>有無 |   |  |
|-----|----------|---|-------------------------|---|------------|----------|------------|----------|--------|--------|--------|---------|----|-----------------------|---|--|
|     |          |   | 基準<br>年度                |   |            | 基準<br>年度 |            | 目標<br>年度 |        | モニタリング |        | モニタリング  | あり | なし                    |   |  |
| 指標1 | 移動時間の短縮  | 分   | -                       | - | 約4分        | H25年度    | 約2分        | R2年度     | モニタリング |        |        | モニタリング  |    |                       |   |  |
|     |          |   |                         |   |            |          |            |          | 事後評価   | 確定 ●   | 約1.7分  | 事後評価    | ○  |                       |   |  |
| 指標2 | 駅利用者の増加  | 人   | -                       | - | 4,598人     | H26年     | 4,964人     | R2年      | モニタリング |        |        | モニタリング  |    |                       | ● |  |
|     |          |   |                         |   |            |          |            |          | 事後評価   | 確定 ●   | 4,632人 | 事後評価    | △  |                       |   |  |
| 指標3 | 社会移動率の増加 | %   | -                       | - | -0.26%     | H26年度    | -0.2%      | R2年度     | モニタリング |        |        | モニタリング  |    |                       | ● |  |
|     |          |   |                         |   |            |          |            |          | 事後評価   | 確定 ●   | -0.21% | 事後評価    | △  |                       |   |  |

|     |                |    |  |   |       |       |          |      |        |    |         |      |
|-----|----------------|----|--|---|-------|-------|----------|------|--------|----|---------|------|
| 指標4 | 市イベント関連交流人口の増加 | 万人 | <p>従前値と同様のイベント及び施設を対象として、目標年度である令和2年度におけるイベント及び施設の来場者数の合計値を評価値とする。</p> <p>目標年度である令和2年度におけるイベント及び施設の来場者数が確定していないことから、評価基準日【令和3年3月31日】の確定値とは言えないため、令和元年度の数値を見込み値とし、令和2年度のイベント及び施設の来場者数が確定した数値を確定値とする。</p>  | - | 約81万人 | H26年度 | 約103.8万人 | R2年度 | モニタリング |    | モニタリング  |      |
|     |                |    |  |   |       |       |          |      | 事後評価   | 確定 | 約82.5万人 | 事後評価 |
| 指標5 | 住みやすさ指数の増加     | %  | <p>小美玉市総合計画市民アンケート調査における羽鳥小学校区における集計値を対象に「小美玉市を住みやすいと感じていますか」の質問に対し、「とても住みやすい」及び「住みやすい」の回答率の合計値を評価値とする。</p> <p>小美玉市総合計画市民アンケート調査の実施は、令和3年度に予定されていることから、評価基準日【令和3年3月31日】の確定値とはできないため、既往の平成29年3月に実施した美野里地区を対象としたアンケート結果における美野里地区の平成24年3月と平成29年3月の回答率の増加率から、羽鳥小学校区における推計値を見込み値とし、令和3年度に予定する小美玉市総合計画市民アンケート調査の結果を確定値とする。</p> | - | 約49%  | H23年度 | 約53%     | R2年度 | モニタリング |    | モニタリング  |      |
|     |                |    |  |   |       |       |          |      | 事後評価   | 確定 | 約58%    | 事後評価 |

| 指標  | 目標達成度○△×の理由<br>(達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)                                     | その他特記事項<br>(指標計測上の問題点、課題等) |
|-----|---|----------------------------|
| 指標1 | 駅東側跨線人道橋跡地から上りホームまでの歩行者の移動時間は、目標値の約2分を上回る評価値約1.7分となり、移動時間が短縮された。            | -                          |
| 指標2 | 羽鳥駅の利用者は、評価値(見込み値)が4,632人と、目標値の4,964人を上回らなかったものの、従前値の4,598人に比べて増加した。        | -                          |
| 指標3 | 小美玉市の人口における社会移動率は、評価値(見込み値)が-0.21%と、目標値-0.2%を上回らなかったものの、従前値の-0.26%に比べて回復した。 | -                          |
| 指標4 | 市イベント関連交流人口は、評価値(見込み値)が約82.5万人と、目標値の約103.8万人を上回らなかったものの、従前値の約81万人に比べて増加した。  | -                          |
| 指標5 | アンケート調査結果による住みやすさ指数は、目標値の約53%を上回る評価値(見込み値)約58%となり、住みやすいと考える地域住民の割合が増えた。     | -                          |

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○:評価値が目標値を上回った場合

△:評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×:評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合



添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

| 指 標           | データの計測手法と<br>評価値の求め方<br>(時期、場所、実施主体、<br>対象、具体手法等) | (参考)※1<br>計画以前の値<br>(ア) |          | 従前値<br>(イ) |          | 数値(ウ)  | 本指標を取り上げる理由 | その他特記事項<br>(指標計測上の問題点、課題等) |
|---------------|---|-------------------------|----------|------------|----------|--------|-------------|----------------------------|
|               |   | 基準<br>年度                | 基準<br>年度 | 基準<br>年度   | 基準<br>年度 |        |             |                            |
| その他の<br>数値指標1 |   |                         |          |            |          | モニタリング |             |                            |
|               |   |                         |          |            |          | 事後評価   |             |                            |

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容 | 実施状況                  | 実施頻度・実施時期・実施結果  |                    | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------|--------------------|----------|
|                                 |                       | i. 体制構築に向けた取組内容 | ii. まちづくり組織名：組織の概要 |          |
| なし                              | 予定どおり実施した             | -               | -                  | -        |
|                                 | 予定はなかったが実施した          |                 |                    |          |
|                                 | 予定したが実施できなかった<br>(理由) |                 |                    |          |
|                                 | 予定どおり実施した             |                 |                    |          |
|                                 | 予定はなかったが実施した          |                 |                    |          |
|                                 | 予定したが実施できなかった<br>(理由) |                 |                    |          |

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容 | 実施状況                  | 実施頻度・実施時期・実施結果  |                    | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|---|--------------------|----------|
|                                 |                       | i. 体制構築に向けた取組内容   | ii. まちづくり組織名：組織の概要 |          |
| 羽鳥駅舎お別れ会                        | 予定どおり実施した             | ○ 羽鳥駅橋上駅舎化及び東西自由通路新設に伴い、長い間住民に愛され続けた旧羽鳥駅舎のお別れ会を令和元年6月16日(日曜日)に開催しました。 |                    | -        |
|                                 | 予定はなかったが実施した          |   |                    |          |
|                                 | 予定したが実施できなかった<br>(理由) |   |                    |          |
| ワークショップ～モザイクタイルアートで「羽鳥駅」を彩ろう！～  | 予定どおり実施した             | ○ 令和元年12月7日(土曜日)にワークショップを開催し、住民参加による羽鳥駅東西自由通路北側壁面のモザイクタイルアートを制作しました。  |                    | -        |
|                                 | 予定はなかったが実施した          |   |                    |          |
|                                 | 予定したが実施できなかった<br>(理由) |   |                    |          |

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

| 都市再生整備計画に記載した内容<br>又は、実際に実施した内容 | 構築状況                  | 実施頻度・実施時期・実施結果  |                    | 今後の対応方針等 |
|---------------------------------|-----------------------|-----------------|--------------------|----------|
|                                 |                       | i. 体制構築に向けた取組内容 | ii. まちづくり組織名：組織の概要 |          |
| なし                              | 予定どおり実施した             | -               | -                  | -        |
|                                 | 予定はなかったが実施した          |                 |                    |          |
|                                 | 予定したが実施できなかった<br>(理由) |                 |                    |          |
|                                 | 予定どおり実施した             |                 |                    |          |
|                                 | 予定はなかったが実施した          |                 |                    |          |
|                                 | 予定したが実施できなかった<br>(理由) |                 |                    |          |

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

| 名称等              | 検討メンバー                 | 実施時期        | 担当部署                               |
|------------------|------------------------|-------------|------------------------------------|
| 都市再生整備計画事業庁内連絡会議 | 庁内の関係各課(スポーツ推進課、企画調整課) | 令和2年11月～12月 | 都市建設部 特定プロジェクト整備課<br>(都市再生整備計画主管課) |

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種別 |                              | 指標1       |  | 指標5        |  |           |      |           |      |
|-------|------------------------------|-----------|--|------------|--|-----------|------|-----------|------|
| 指標名   |                              | 移動時間の短縮   |  | 住みやすさ指数の増加 |  |           |      |           |      |
| 種別    | 事業名・箇所名                      | 指標改善への貢献度 | 総合所見   | 指標改善への貢献度  | 総合所見   | 指標改善への貢献度 | 総合所見 | 指標改善への貢献度 | 総合所見 |
| 基幹事業  | 羽鳥駅東口駅前広場                    | ◎         | 従前は改札が駅西側のみであったため、駅東側からの利用者は、跨線人道橋を渡って西側に移動しなければ駅を利用できないなど不便な状況であったが、東口駅前広場及び東西自由通路が整備され、駅東西の移動が容易となったことや、自由通路から駅に直接アクセスできる構造となったことなどにより、駅東側から上りホームまでの歩行者の移動時間が約4分から約1.7分に短縮され、駅東側からのアクセス性が向上した。 | ○          | 羽鳥駅の自由通路・駅前広場等を整備したことで、アンケート調査結果による住みやすさ指数は、目標値の約53%を上回る評価値(見込み値)約58%となり、住みやすいと考える地域住民の割合が増えた。 |           |      |           |      |
|       | 羽鳥駅西口交通広場                    | ◎         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | 市道美1486号線                    | ○         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | 市道美1496号線                    | ○         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | 羽鳥駅東西自由通路                    | ◎         |  | ○          |  |           |      |           |      |
| 提案事業  | 防犯カメラ設置                      | -         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | 事業効果活用調査                     | -         |  |            |  |           |      |           |      |
| 関連事業  | ①希望ヶ丘公園整備事業                  | -         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | ②都市再生コーディネーター等推進事業(羽鳥駅東口市有地) | -         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | ③UIターン促進事業(地方創生推進交付金)        | -         |  | ○          |  |           |      |           |      |
|       | ④情報戦略事業(地方創生推進交付金)           | -         |  | ○          |  |           |      |           |      |

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

|       |   |   |  |  |
|-------|---|---|--|--|
| 今後の活用 | 羽鳥駅東西自由通路整備等により、駅を中心とする東西市街地の回遊性の向上が図られたことから、今後は駅東口市有地の利活用とともに、東西が一体となった羽鳥駅周辺地区全体の更なる魅力の向上を目指す。 | 今後とも地域住民に対する「住みやすさ」の向上が図られるよう、駅東口市有地の利活用や羽鳥駅周辺地区全体の拠点としてのまちづくりを推進することで、住んでみたい・住んでよかった・住み続けたい小美玉市を目指す。 |  |  |
|-------|---|---|--|--|

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

| 指標の種別 |                       | 指標2        |  |       | 指標3        |  |       | 指標4            |   |       |            |      |       |
|-------|-----------------------|------------|--|-------|------------|--|-------|----------------|---|-------|------------|------|-------|
| 指標名   |                       | 駅利用者の増加    |  |       | 社会移動率の増加   |  |       | 市イベント関連交流人口の増加 |   |       |            |      |       |
| 種別    | 事業名・箇所名               | 目標未達成への影響度 | 総合所見   | 要因の分類 | 目標未達成への影響度 | 総合所見   | 要因の分類 | 目標未達成への影響度     | 総合所見  | 要因の分類 | 目標未達成への影響度 | 総合所見 | 要因の分類 |
| 基幹事業  | 羽鳥駅東口駅前広場             | -          | 羽鳥駅の駅利用者については、評価値(見込み値)が4,632人と、従前値の4,598人を上回ったものの、目標値の4,964人を達成することはできなかった。関連事業②③による効果が低かったことが要因と推測される。 | I     | -          | 社会移動率については、評価値(見込み値)が-0.21%と、従前値の-0.26%を上回ったものの、目標値の-0.2%を達成することはできなかった。関連事業②③による効果が低かったことが要因と推測される。 | I     | -              | 市イベント関連交流人口については、評価値(見込み値)が約82.5万人と、従前値の約81万人を上回ったものの、目標値の約103.8万人を達成することができなかった。関連事業②③による効果が低かったことが要因と推測される。 | I     | -          |      |       |
|       | 羽鳥駅西口交通広場             | -          |  |       |            |  |       |                |   |       |            |      |       |
|       | 市道美1486号線             | -          |  |       |            |  |       |                |   |       |            |      |       |
|       | 市道美1496号線             | -          |  |       |            |  |       |                |   |       |            |      |       |
| 提案事業  | 防犯カメラ設置               | -          |  |       | -          |  |       | -              |   |       | -          |      |       |
|       | 事業効果活用調査              | -          |  |       | -          |  |       | -              |   |       | -          |      |       |
| 関連事業  | ①希望ヶ丘公園整備事業           | -          |  |       | -          |  |       | -              |   |       | -          |      |       |
|       | ②UIターン促進事業(地方創生推進交付金) | △          |  |       | △          |  |       | △              |   |       | △          |      |       |
|       | ③情報戦略事業(地方創生推進交付金)    | △          |  |       | △          |  |       | △              |   |       | △          |      |       |

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

|                  |   |   |   |
|------------------|---|---|---|
| 改善の方針<br>(記入は必須) | 羽鳥駅東口市有地の有効活用に加え、新たに東西自由通路・駅前広場が整備された羽鳥駅のPRを継続・強化し、駅を利用する地域住民や観光客等の増加を図る。 | 小美玉市の魅力PRや移住・定住の促進に向けた情報発信、支援事業を継続・強化し、住んでみたい・住んでよかった・住みつづけた小美玉市を目指す。 | 小美玉市にしかない地域資源の魅力向上やイベントPRの継続・強化を図ることで、交流人口の拡大を図る。 |
|------------------|---|---|---|

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

| 名称等              | 検討メンバー                 | 実施時期           | 担当部署                               |
|------------------|------------------------|----------------|------------------------------------|
| 都市再生整備計画事業庁内連絡会議 | 庁内の関係各課(スポーツ推進課、企画調整課) | 令和2年12月～令和3年1月 | 都市建設部 特定プロジェクト整備課<br>(都市再生整備計画主管課) |

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

| 事業前の課題<br>都市再生整備計画に記載<br>したまちの課題                 | 達成されたこと(課題の改善状況)   | 残された未解決の課題  | 事業によって発生した<br>新たな課題  |
|--|--|---|--|
| 羽鳥駅周辺市街地における玄関口<br>にふさわしい拠点的な地区の<br>整備が必要となっている。 | 小美玉市の陸の玄関口である羽鳥駅において、自由通路や駅前広場等の一体的整備が図られたことにより、地域住民の「住みやすさ」に対する指数が向上した。                       | 羽鳥駅東口市有地については、土地の利活用が検討されているものの、現時点で立地誘導・整備が図られていないことから、拠点としてのまちづくりに寄与する有効活用が必要である。 | 羽鳥駅の東西自由通路等により、駅を中心とする東西市街地の回遊性が図られたが、今後は東西が一体となった羽鳥駅周辺地区全体を拠点とした整備が必要である。 |
| 市内の主要な拠点を結ぶ適切な<br>連携軸の整備が必要となっている。               | 羽鳥駅においては、東西駅前広場の整備により利便性の向上が図られたことに加え、連絡軸となる自由通路が整備されたことで東西市街地への移動が容易となった。                     |   |  |
| 小美玉市の今後を担う子どもたちが<br>安心・安全に育っていける施策<br>が求められている。  | 羽鳥駅の自由通路・駅前広場等の一体的整備により、バリアフリー化が図られたことに加え、防犯カメラが設置されるなど、あらゆる世代の人々が安心・安全に住み続けることができる環境の整備が図られた。 |   |  |
| まちに活気や賑わいが求められている。                               | -  | 「駅利用者の増加」「社会移動率の増加」「市イベント関連交流人口の増加」の指標について、達成することができなかった。                           | 移住定住の促進や交流人口の拡大を図ることで、まちの更なる活気・賑わいの創出が必要である。                               |

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

| A欄<br>効果を持続させるため<br>に行う方策 | 効果の持続を図る事項           | 効果を持続させるための基本的な考え方  | 想定される事業            |
|---------------------------|----------------------|---|--------------------|
|                           | 羽鳥駅の一体的整備を契機としたまちづくり | 行政による計画的なまちづくりを行うのみならず、事業者・住民等の更なる連携・協働の下、地域住民が参加するまちづくり組織を主体とするまちづくり活動を推進することが求められる。 | ・地域住民が参加するまちづくりの推進 |
|                           |                      |   |                    |
|                           |                      |   |                    |

| B欄<br>改善策<br><br>・未達成の目標を達成するための改善策<br>・未解決の課題を解消するための改善策<br>・新たに発生した課題に対する改善策 | 改善する事項                  | 改善策の基本的な考え方  | 想定される事業                |
|--|-------------------------|--|------------------------|
|  | 羽鳥駅の一体的整備を契機とした市有地の有効活用 | 羽鳥駅東口市有地については、民間活力の導入など、便利で賑わいのある交流空間を形成できるよう利活用を図ることを目指す。               | ・羽鳥駅東口市有地利活用事業         |
|  | 羽鳥駅周辺地区全体における拠点化        | 羽鳥駅周辺地区全体の拠点化を図り、魅力ある東西一体となった市街地の形成を目指す。                                 | ・羽鳥駅周辺整備事業(道路等事業)      |
|  | まちの更なる活気・賑わいの創出         | 市の魅力やイベントのPR、情報発信を実施することで、移住定住の促進を図るとともに、交流人口の拡大、更には駅利用者の増加へとつなげることを目指す。 | ・UIJターン促進事業<br>・情報戦略事業 |

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

|   |   |
|---|---|
| ● | 交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。 |
| ● | 事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。                  |
| ● | 数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。   |
| ● | 数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。  |
| ● | 残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。              |

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見



添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。  
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

| 指標        |                | 単位 | 従前値   |       | 目標値   |      | 評価値   |       | 目標達成度 | 1年以内の達成見込みの有無 | フォローアップ計画 |  |         |
|-----------|----------------|----|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|---------------|-----------|--|---------|
|           |                |    | 年/年度  | 年/年度  | 年/年度  | 年/年度 |       |       |       |               | 予定時期      | 計測方法                                   | その他特記事項 |
| 指標1       | 移動時間の短縮        | 分  | 4     | H25年度 | 2     | R2年度 | 確定 ●  | 1.7   | ○     | あり            |           |  |         |
|           |                |    |       |       |       |      | 見込み   |       |       | なし            |           |  |         |
| 指標2       | 駅利用者の増加        | 人  | 4,598 | H26年  | 4,964 | R2年  | 確定 ●  | 4,632 | △     | あり ●          | 令和4年3月頃   | 東日本旅客鉄道の公表資料により、令和2年の駅利用者を確定値とする。      | -       |
|           |                |    |       |       |       |      | 見込み ● |       |       | なし            |           |  |         |
| 指標3       | 社会移動率の増加       | %  | -0.26 | H26年度 | -0.2  | R2年度 | 確定 ●  | -0.21 | △     | あり ●          | 令和4年3月頃   | 令和2年度の社会増減値及び小美玉市人口の公表値により、確定値とする。     | -       |
|           |                |    |       |       |       |      | 見込み ● |       |       | なし            |           |  |         |
| 指標4       | 市イベント関連交流人口の増加 | 万人 | 81    | H26年度 | 103.8 | R2年度 | 確定 ●  | 82.5  | △     | あり ●          | 令和4年3月頃   | 令和2年度のイベント来場者数が確定した値を確定値とする。           | -       |
|           |                |    |       |       |       |      | 見込み ● |       |       | なし            |           |  |         |
| 指標5       | 住みやすさ指数の増加     | %  | 49    | H23年度 | 59    | R2年度 | 確定 ●  | 58    | ○     | あり            | 令和4年3月頃   | 令和3年度に予定する小美玉市総合計画市民アンケート調査の結果を確定値とする。 | -       |
|           |                |    |       |       |       |      | 見込み ● |       |       | なし ●          |           |  |         |
| その他の数値指標1 |                |    |       |       |       | 確定   |       |       |       |               |           |  |         |
|           |                |    |       |       |       | 見込み  |       |       |       |               |           |  |         |
| その他の数値指標2 |                |    |       |       |       | 確定   |       |       |       |               |           |  |         |
|           |                |    |       |       |       | 見込み  |       |       |       |               |           |  |         |
| その他の数値指標3 |                |    |       |       |       | 確定   |       |       |       |               |           |  |         |
|           |                |    |       |       |       | 見込み  |       |       |       |               |           |  |         |

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

| 項目                       |            | 要因分析   | 次期計画や他地区への活かし方   |
|--------------------------|------------|--|--|
| 数値目標<br>・成果の達成           | うまくいった点    | ・指標1「移動時間の短縮」については、評価値が従前値及び目標値を上回ったことから、適正な数値目標であった。  | ・都市再生整備計画の作成時には、事後評価の実施時期を考慮して指標を設定する。                             |
|                          | うまくいかなかった点 | ・指標2～4における目標値の時期が整備の最終年度としていたことから、計測するデータが公表されておらず、見込み値となり成果の達成度の確定ができなかった。  |  |
| 数値目標と<br>目標・事業との<br>整合性等 | うまくいった点    |  | ・指標について、事業との整合を十分に検討した上で、関連性のある指標を設定するとともに、妥当性のある目標値を設定する。         |
|                          | うまくいかなかった点 | ・指標2「駅利用者の増加」及び指標4「市イベント関連交流人口の増加」については、従前値を上回ったものの目標値の値を高く設定したため目標値を達成できなかった。<br>・指標3「社会移動率の増加」及び指標4「市イベント関連交流人口の増加」については、整備計画による直接的影響のある指標とならなかった。 |  |
| 住民参加<br>・情報公開            | うまくいった点    | ・住民参加による羽鳥駅東西自由通路北側壁面のモザイクアートが制作できた。<br>・駅舎や東西自由通路、東西駅前広場の工事進捗状況を定期的にホームページへ掲載し、情報提供を行った。  | ・住民参加はまちづくり事業を円滑にする上で有効である。<br>・進捗状況等のホームページへの掲載は今後も継続して実施する必要がある。 |
|                          | うまくいかなかった点 | ・モザイクアートによる住民参加のまちづくりを実践したものの、積極的に地域住民が係わり地域のまちづくりを先導するような組織づくりまではできなかった。  |  |
| PDCAによる事業<br>・評価の進め方     | うまくいった点    |  | ・交付期間中のモニタリング実施は、事業の進捗を把握するためにも有効である。                              |
|                          | うまくいかなかった点 | ・モニタリングを実施しなかったため、事業途中での客観的な評価が出来なかった。   |  |
| その他                      | うまくいった点    |  |  |
|                          | うまくいかなかった点 |  |  |

### 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

現時点で予定なし

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

| 公表方法         | 具体的方法       | 公表期間・公表日               | 意見受付期間                 | 意見の受付方法                    | 担当部署                                  |
|--------------|-------------|------------------------|------------------------|----------------------------|---------------------------------------|
| インターネット      | 市のホームページに掲載 | 令和3年2月1日～<br>令和3年2月22日 | 令和3年2月1日～<br>令和3年2月22日 | 担当課へ直接提出、郵送、<br>FAX及び電子メール | 都市建設部<br>特定プロジェクト整備課<br>(都市再生整備計画主管課) |
| 広報掲載・回覧・個別配布 | —           | —                      | —                      |                            |                                       |
| 説明会・ワークショップ  | —           | —                      | —                      |                            |                                       |
| その他          | 窓口閲覧        | 令和3年2月1日～<br>令和3年2月22日 | 令和3年2月1日～<br>令和3年2月22日 |                            |                                       |

|       |           |
|-------|-----------|
| 住民の意見 | 提出された意見0件 |
|-------|-----------|

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

| 委員構成      |  | 実施時期      | 担当部署                                  | 委員会の設置根拠                 | 委員会の母体組織 |
|-----------|--|-----------|---------------------------------------|--------------------------|----------|
| 学識経験のある委員 | 委員: 生田目 美紀<br>(筑波技術大学 産業技術学部産業情報学科・教授)             | 令和3年3月24日 | 都市建設部<br>特定プロジェクト整備課<br>(都市再生整備計画主管課) | 小美玉市社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱 | 独自に設置    |
| その他の委員    | 委員: 村尾 實(小美玉市代表監査委員)<br>委員: 島田 清一郎(こころふれあう羽鳥の会 会長) |           |                                       |                          |          |

| 審議事項※1         |                           | 委員会の意見   |
|----------------|---------------------------|--|
| 事後評価手続き等にかかる審議 | 方法書                       | ・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。  |
|                | 成果の評価                     | ・評価結果については、了承された。  |
|                | 実施過程の評価                   | ・計画作成当初より、モニタリングの実施及び持続的なまちづくり体制の構築について、より現実的に検討したほうがよいとの意見があった。   |
|                | 効果発現要因の整理                 | ・効果発現要因の整理については、適正であると確認された。   |
|                | 事後評価原案の公表の妥当性             | ・事後評価原案の公表については、妥当であると確認された。   |
|                | その他                       | ・計画作成時に評価値の計測時期を考慮したほうがよいとの意見があった。<br>・指標2「駅利用者の増加」については、事業地区のみの動向が分かるような指標にするなど、計画作成時に測定の仕方を工夫したほうがよいとの意見があった。  |
|                | 事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認 | ・事後評価の手続きについては、妥当であると確認された。  |
| 今後のまちづくりについて審議 | 今後のまちづくり方策の作成             | ・効果を持続させるために行う方策については、自由通路ができたことにより、東西市街地の連携が図られたことから、東西の行き来をもっと活発にするような地域コミュニティとの連携・協働を推進し、住民の意見を取り入れた計画を考えてほしいとの意見があった。<br>・改善策については、羽鳥駅東口市有地に関し、広場にキッチンカーや小美玉ヨーグルト等の地域産品を販売するイベントを開催するなど、拠点として高齢者や子育て世代等の多世代が集うような活用が望ましいとの意見があった。(暫定的活用としてキッチンカーによるイベントを今後計画予定。) |
|                | フォローアップ                   | ・フォローアップについては、妥当であると確認された。   |
|                | その他                       | ・駅周辺の活性化のためには、多様な商業店舗の立地を可能とする用途地域の見直しが必要との意見があった。<br>・移動手段が自動車にかわって、バスと鉄道を連携することにより、鉄道利用が増えるような方策を考えてほしいとの意見があった。   |
|                | 今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認     | ・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。   |
| その他            | ・特になし。                    |  |

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

## (7) 有識者からの意見聴取

### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

| 意見聴取した有識者名・所属等 | 実施時期 | 担当部署 |
|----------------|------|------|
|                |      |      |
|                |      |      |

|        |  |
|--------|--|
| 有識者の意見 |  |
|--------|--|